

企業ねんきん

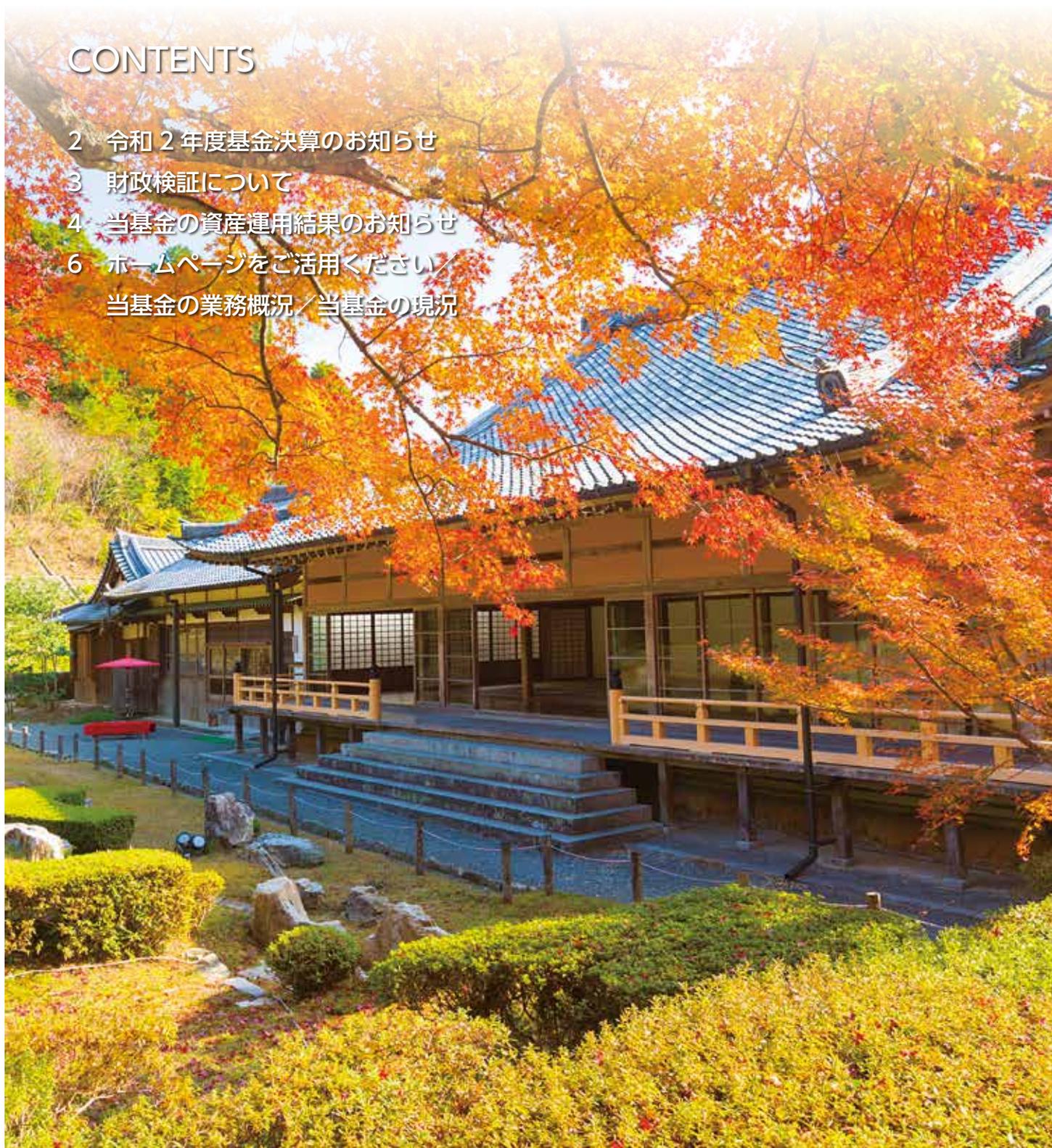
基金だより

No.11

2021.9

CONTENTS

- 2 令和2年度基金決算のお知らせ
- 3 財政検証について
- 4 当基金の資産運用結果のお知らせ
- 6 ホームページをご活用ください／
当基金の業務概況／当基金の現況



「山口県・常栄寺の雪舟庭」

西日本電気工事企業年金基金

令和2年度 基金決算のお知らせ

7月19日に開催されました第12回代議員会において、当基金の令和2年度の決算および財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、年金経理、業務経理ともに公認会計士によるAUP（合意された手続業務の確認・報告）を実施し、監事監査にて業務の適正な処理と財務会計規程・法令に準拠していることが認められています。

年金経理

年金・一時金の支払いや、その財源となる資産の積立状況をみる会計です。

■貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位万円)

| 資産勘定 | | 負債勘定 | |
|---------------|-----------|---------|---------|
| 科目 | 決算額 | 科目 | 決算額 |
| 1. 純資産 | | | |
| 固定資産 | 274,379 | 流動負債 | 0 |
| (信託資産) | (274,379) | 支払備金 | 3,669 |
| 流動資産 | 3,455 | (未払給付費) | (3,669) |
| (未収掛金) | (3,455) | (未払移換金) | (0) |
| | | | |
| 計 | 277,834 | 計 | 3,669 |
| 2. 負債 | | | |
| | | 責任準備金 | 274,165 |
| | | | |
| | | 計 | 274,165 |
| 3. 基本金 | | | |
| 繰越不足金 | 0 | 別途積立金 | 0 |
| 当年度不足金 | 0 | 当年度剰余金 | 0 |
| 計 | 0 | 計 | 0 |
| 総合計 | 277,834 | 総合計 | 277,834 |

■損益計算書

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

(単位万円)

| 費用勘定 | | 収益勘定 | |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 科目 | 決算額 | 科目 | 決算額 |
| 1. 経常収支 | | | |
| 給付費 | 22,889 | 掛金等収入 | 20,972 |
| 移換金 | 81 | 運用収益 | 36,066 |
| 運用報酬等 | 1,062 | | |
| 業務委託費等 | 2,244 | | |
| 運用損失 | 0 | | |
| 計 | 26,276 | 計 | 57,038 |
| 2. 特別収支 | | | |
| | | 特別収入 | 14 |
| | | 計 | 14 |
| 3. 負債の変動 | | | |
| 責任準備金増加額 | 23,165 | | |
| 繰越不足金処理金 | 7,611 | | |
| 計 | 30,776 | | |
| 4. 基本金 | | | |
| 当年度剰余金 | 0 | 当年度不足金 | 0 |
| 計 | 0 | 計 | 0 |
| 総合計 | 57,052 | 総合計 | 57,052 |

業務経理・業務会計

基金の事業運営に必要な経費を処理する会計です。

■貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位万円)

| 資産勘定 | | 負債勘定 | |
|--------|-------|------|-------|
| 科目 | 決算額 | 科目 | 決算額 |
| 固定資産 | 42 | 流動負債 | 146 |
| 流動資産 | 4,259 | 基本金 | 4,155 |
| 当年度不足金 | 0 | | |
| | | | |
| 計 | 4,301 | 計 | 4,301 |

■損益計算書

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

(単位万円)

| 費用勘定 | | 収益勘定 | |
|--------|-------|------|-------|
| 科目 | 決算額 | 科目 | 決算額 |
| 事務費 | 2,616 | 掛金収入 | 3,276 |
| 代議員会費 | 32 | | |
| 業務委託費等 | 62 | | |
| 雑支出 | 30 | | |
| 当年度剰余金 | 536 | | |
| 計 | 3,276 | 計 | 3,276 |

財政検証について

基金では毎年度の決算結果に基づいて、年金資産（純資産）の積立状況を「継続基準」と「非継続基準」の2つの基準に照らして検証することが法令で義務付けられています。

1 継続基準

将来のために保有しておくべき年金資産が、計画どおり積み立てられているかを検証します。

●積立比率

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{責任準備金}} = 1.0 = 1.0 \quad (\text{基準値})$$

純資産額
274,165万円

責任準備金
274,165万円

●再計算の要否判定比率

$$\frac{\text{純資産額} + \text{許容繰越不足金}}{\text{責任準備金}} = 1.15 > 1.0 \quad (\text{基準値})$$

許容繰越不足金
41,125万円

純資産額
274,165万円

責任準備金
274,165万円

2 非継続基準

現時点で基金が解散したと仮定した場合、加入者や年金受給者等の方にこれまでの加入者期間に応じた給付に見合う資産を保有しているかを検証します。

●積立比率

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{最低積立基準額}} = 1.18 > 1.0 \quad (\text{基準値})$$

純資産額
274,165万円

最低積立基準額
231,442万円

※ 責任準備金 …… 将来の年金給付に備えて現時点で保有しておくべき必要額に将来のリスクに備えて積立てられた額を加えた額。

※ 最低積立基準額 … 現時点で基金が解散したと仮定した場合に、受給(権)者の加入期間に見合った給付をまかなうために必要な年金資産。

検証結果

継続基準・非継続基準ともに基準値を満たしていますので、掛金率の見なおしは必要ありません。

基金の財政運営基準が改められ、貸借対照表・損益計算書は新しい基準に基づいて作成されています

これまでは、将来の給付に必要とされる額を超える掛金の積立は認められていませんでしたが、リーマンショックなどの運用市場の急激な悪化にも対応できるように「リスク対応掛金」の積立が認められることになりました。

「リスク対応掛金」を設定するかどうかは各基金の任意であり、当基金は「リスク対応掛金」は設定していませんが、その場合でも貸借対照表・損益計算書は新しい基準となります。

これまでの基準では、将来の給付に備えて現時点で保有しておくべき必要額を責任準備金と定めていましたので、純資産額が責任準備金を超えた場合は、超えた額が当年度剰余金として計上されていました。

新しい基準では、純資産額が将来の給付に備えて現時点で保有しておくべき必要額を超えた場合でも、その給付の必要額に運用悪化リスクの備えであるリスク対応掛金の積立上限額（当基金では約4億6,300万円）を加えた額までは、責任準備金が増加し当年度剰余金は0となる仕組みに変わりました。

したがって、令和2年度の貸借対照表・損益計算書ともに当年度剰余金は0となっていますが、実質的には、約2億9,172万円の積立剰余が発生し、基金財政はより安定的となっています。

※参考 旧基準で見ますと、責任準備金が約24億4,993万円 当年度剰余金が約2億9,172万円となります。

当基金の資産運用結果のお知らせ

パンデミックによる世界的な運用市場環境の悪化から一転、各国の大規模な財政・金融政策等により株式市場は急回復し、令和 2 年度の当基金の年金資産運用利回りは、14.94%となりました。

令和 2 年度 委託先運用結果

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

| 委託先 | 期末資産額 | シェア | 総合収益 | 修正総合利回り |
|-------|------------|------|-----------|---------|
| りそな銀行 | 27億4,378万円 | 100% | 3億6,066万円 | 14.94% |
| 合計 | 27億4,378万円 | 100% | 3億6,066万円 | 14.94% |

※総合収益………実際に得られた収益に時価を反映した収益。

※修正総合利回り…運用結果として得られた収益率に時価の変動分を加味した利回り。

令和 2 年度末 資産構成割合 各投資先に資産を配分して、リスク分散を考慮しながら運用しています。

(令和 3 年 3 月 31 日)

| | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 国内債券 (8億7,900万円) 32.0% | 国内株式 (4億2,666万円) 15.6% | 外国債券 (1億6,140万円) 5.9% | 外国株式 (4億3,294万円) 15.8% | その他資産 (7億7,119万円) 28.1% | 短期資産 (7,259万円) 2.6% |
|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------|

当基金の資産運用委員会の活動報告

当基金では、「年金資産の運用に関する基本方針」の策定、運用受託機関の選任や評価等について検討する資産運用委員会を設置しています。

令和 3 年 6 月 14 日、資産運用委員会を開催し、次の議題等について決定しました。

【主な議題内容】

- 令和 3 年度運用方針について
 - 政策的資産構成割合(政策アセットミックス)の決定について
 - 「資産運用ファンドの組み合わせ」の見直しについて
- 資産運用結果について
- 今後の投資環境見直しについて

運用の基本方針(概要)

| | |
|------|--|
| 運用目的 | 西日本電気工事企業年金基金(以下「当基金」という)は、当基金の企業年金規約に規定した年金たる給付および一時金たる給付の支払いを将来にわたり確実にを行うため、必要とされる総合収益を中期的な下振れリスクなどに留意しつつ、長期的に確保することを運用目的とする。 |
| 運用目標 | 年金財政上の予定利率、運用資産ごとに市場における収益率(以下「ベンチマーク」という)、および運用資産ごとのベンチマークを資産構成割合に応じて組み合わせた収益率(以下「複合ベンチマーク」という)を長期的に上回ることを運用目標とする。 |
| 資産構成 | 基本となる投資対象資産の期待リターン、リスク、相関係数を考慮したうえで、基準となる政策的資産構成割合(以下「政策アセットミックス」という)を(別紙1)の通り定める。 この政策アセットミックスは、当基金の企業年金制度の成熟度および財政状況等を勘案し、中長期的な分散投資の観点から安全かつ効率的なものとなるように策定する。策定に当たっては、内外の経済動向を考慮しなければならない。 オルタナティブ投資(株式や債券等の伝統的な資産以外への投資、またはデリバティブ等伝統的投資手法以外の手法を用いる投資)を行う場合は、別途定める「オルタナティブ投資に係る規程」に基づくものとする。 |

(別紙 1) 政策的資産構成割合(政策アセットミックス)

(令和 3 年 6 月 14 日)

| 資産分類 | 政策資産構成割合(%) | 乖離許容幅(%) |
|--------------------------------|-------------|------------------|
| 国内債券 | 42 ※ | 33～51 |
| 国内株式 | 10 | 1～19 |
| 外国債券 | 7 | 0～16 |
| 外国株式 | 10 | 1～19 |
| その他資産 (リスク・コントロール型バランスファンド) | 28 (28) | 23～33 (23～33) |
| 短期資産 | 3 | 0～20 |
| 合計 | 100% | — |

※国内債券には、為替ヘッジ付外国債券を含む。

脳が目覚めるパズル

クロスワード

クロスワードの盤面を完成させてください。
A~Fに入る言葉を並べてできる言葉は何でしょう？

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|---|----|
| 1 | 2 | | 3 | | 4 | | |
| | | | B | | | | |
| 5 | | 6 | | | | | |
| 7 | | | | 8 | | 9 | |
| | | 10 | | | | | |
| 11 | 12 | | | 13 | 14 | | |
| | | | 15 | | | | |
| 16 | | | | | | | 17 |

タテのカギ

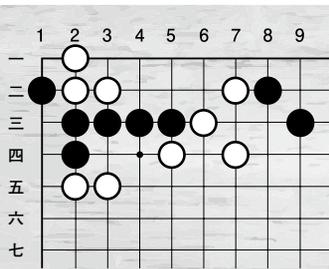
- 1 中秋の名月を眺めるならこの夜に
- 2 日本の絵は日本画、西洋の絵は？
- 3 鉛筆の中央にある
- 4 跳び箱の着地地点に敷いておく
- 6 9月の第3月曜日は○○○○の日の祝日
- 8 勝負は引き分けで終了
- 9 紅葉の名所へ行きその眺めを楽しむ
- 12 日本のこれは「日の丸」と呼ばれる
- 14 書類を入れるプラスチックの○○○ファイル
- 15 イエスと反対の返事

ヨコのカギ

- 1 始まったばかり。まだまだ○○の口
- 3 収穫したてのお米
- 5 権利をもっていること。
選挙で投票できる○○○○者
- 7 口に水を含み、ガラガラペツ
- 8 桃太郎のこれは犬・猿・キジ
- 10 首都がモスクワの国
- 11 暗い中を走る○○○列車
- 13 出産したらスタートする親の役目
- 15 クンクン、これはさっきまでいた
人のおいだな
- 16 果物や野菜を入れてジュースを作る調理家電
- 17 地面に落ちた砂糖に群がるイメージのある虫

答

A B C D E F



出題/九段 中村秀仁

黒先でどうなりますか。
(ヒント)
外側の石を利用します。
(10分初段)



詰碁



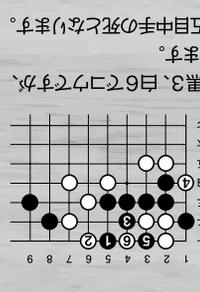
出題/五段 山下カズ子

持駒 金、銀
(ヒント)
トドメは竜。
(10分初段)

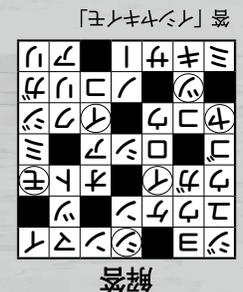
詰将棋



【詰碁】
《正解》▲1四銀△3三玉▲2三金△4二玉
▲3二金△同玉▲2三銀成△同玉▲2二金
△3三玉▲3一竜▲1三金は△3三玉▲2二銀△4二
《解説》初手▲1三金は△3三玉▲2二銀△4二
玉でうまくいきません。2は平凡に▲1四銀
と迫るのが正しく、以下△3三玉▲2三金と
強引進軍して、この手に△同金は△同銀成以下
早詰みですから△4二玉と逃げますが▲3二金
△同玉に▲2三銀成が好手で△同玉に▲2二金
から▲3一竜までの収束を見ます。



【詰碁】
《正解》黒先△コウ
《解説》外間の玉への濫りを尾
て置1スペースに飛び、白2ス
濫りを止めた時、黒3と押し
えるのが好手順です。黒5で
コウとなります。
白2の下は、黒4、白1の下、黒3、白6でコウですが、
この取り番になる正解図が優ります。
黒3で1の下に△コウのは白4で、五目相手の死となり見ます。



【詰碁】

ホームページをご活用ください

当基金のホームページで「年金制度のしくみ」「給付のしくみ」「年金・一時金の手続き」「基金事務のページ」「当基金について」などの情報をご覧いただけます。

アドレス <http://www.nishinihon-denikouji-kigyounenkinkikin.jp/>

西日本電気工事企業年金基金 検索



QRコードを読み込むことで西日本電気工事企業年金基金のホームページへアクセスできます。

令和2年度 当基金の業務概況

① 給付の種類ごとの標準的な給付の額及び給付の設計

老齢給付金

◆ 受給資格 ◆

加入者期間 10 年以上かつ 60 歳以上の資格喪失者

◆ 標準的な給付設計 ◆

| | 年齢(歳) | 勤続期間(年) | 金額(千円) |
|-----|-------|---------|--------|
| 年金 | 60 | 38 | 169 |
| 一時金 | 60 | 38 | 2,921 |

※年金：支給期間 20 年の場合の 1 年間年金額

脱退一時金

◆ 受給資格 ◆

加入者期間 3 年以上で資格喪失

◆ 標準的な給付設計 ◆

| | 年齢(歳) | 勤続期間(年) | 金額(千円) |
|-----|-------|---------|--------|
| 一時金 | 32 | 10 | 616 |

遺族給付金

◆ 受給資格 ◆

| | |
|-----|---------------------------------|
| 年金 | なし |
| 一時金 | 加入者期間 3 年以上で死亡、または、老齢給付金受給者の死亡。 |

◆ 標準的な給付設計 ◆

| | |
|-----|------------|
| 年金 | なし |
| 一時金 | 脱退一時金に準じた額 |

② 事業所数・加入者数及び給付の種類ごとの受給権者数

(令和3年3月31日現在)

| | | | |
|-----------|--------|-------|---|
| ◆ 事業所数 ◆ | 202 | 社 | |
| ◆ 加入者数 ◆ | 3,052 | 人 | |
| ◆ 受給権者数 ◆ | 受給者 | 1,315 | 人 |
| | 繰下げ申出者 | 301 | 人 |
| | 合計 | 1,616 | 人 |

③ 給付の種類ごとの給付の支給額その他給付の支給の概況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

| | | | | |
|------------|-------|---|---------|----|
| 老齢給付金(年金) | 1,315 | 件 | 134,553 | 千円 |
| 老齢給付金(一時金) | 41 | 件 | 53,645 | 千円 |
| 脱退一時金 | 79 | 件 | 33,357 | 千円 |
| 遺族給付金 | 40 | 件 | 9,715 | 千円 |
| 合計 | 1,475 | 件 | 231,270 | 千円 |

④ 掛金の額、納付時期その他掛金の納付の概況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

| | | | |
|-----------|---------|-------------|---|
| ◆ 掛金納付額 ◆ | 標準掛金 | 192,522,848 | 円 |
| | 特別掛金 | 0 | 円 |
| | リスク対応掛金 | 0 | 円 |
| | 特例掛金 | 0 | 円 |
| | 事務費掛金 | 30,081,695 | 円 |
| | 合計 | 222,604,543 | 円 |

◆ 納付時期 ◆

標準掛金・事務費掛金を毎月翌月末までに納付をしています。

| | |
|----------|--------------------------------|
| 標準掛金： | 毎月末日現在における加入者標準給与月額合計額×1.6% |
| 特別掛金： | 令和2年度は設定しておりません。(令和3年4月より0.2%) |
| リスク対応掛金： | 設定しておりません。 |
| 特例掛金： | 設定しておりません。 |
| 事務費掛金： | 毎月末日現在における加入者標準給与月額合計額×0.25% |

●掛金は全額事業主負担です

●当・基・金・の・現・況●

(令和3年7月31日現在)

設立事業所数

202 社

加入者数

男子 2,493 人
女子 607 人
合計 3,100 人

年金受給者数等

・年金 679 人
・一時金 57 人
(令和3年4月～)

年金資産額(時価)

時価 2,790 百万円